

# 大 学 史 研 究 通 信

第 46 号、2006 年 5 月 17 日（水）

大学史研究会

第 46 号の内容：会員ニュース・第 29 回研究セミナーのご案内・第 29 回研究セミナー自由研究発表の募集について・大学史国際セミナー報告書顛末・事務局からのお知らせ・編集後記・大学史研究会事務局員一覧

## 会員ニュース

異動のあった会員（遡及分を含む）

早島 瑛 会員（所属変更）

### <会員名簿に関する調査について>

前号の通信でもお知らせいたしましたが、昨年 12 月に開催されました総会で、各会員が掲載する情報を選択できることを条件に、会員に頒布するための名簿の作成が決定されました。ついては、名簿作成の基礎となる会員の情報の調査を実施するために、本通信とともに調査票を同封してあります。別紙（別紙の標題を掲載）の要領に従いご回答の上、返送して頂けますよう、よろしくお願いいたします。

今回の調査では、個人情報に関する配慮として、会員名簿に記載する項目を各会員で選択できるようになっております。掲載を差し控えたい項目がおありの際は、その旨ご回答ください。なお、みなさまより頂戴した回答については、名簿作成の他に通信や紀要の発送など事務局の業務遂行に必要な範囲に限定した上で使用することがありますので、会員名簿への掲載をお控えになりたい項目についても変更がある場合はその旨ご回答をお願いいたします。

収集いたしました回答の管理および会員名簿の作成にあたりましては、個人情報の漏洩がなきよう慎重を期して対応いたします。今回の調査の趣旨をご理解の上ご協力をお願いいたします。

（事務局名簿担当 岡田大士・吉野剛弘）

## 大学史研究会 第 29 回研究セミナーのご案内

第 29 回研究セミナーを以下の場所・日程で開催いたします。

場 所：近畿大学本部キャンパス（大阪府東大阪市）

日 時：2006 年 11 月 25 日（土）、26 日（日）

課題研究テーマは『蘭学・洋学（英学・仏学・独学・露学）・漢語学事始』（仮）を予定しています。

（事務局セミナー担当 福石賢一）

## 第 29 回研究セミナー 自由研究発表の募集について

第 29 回大学史研究セミナーの自由研究発表者を募集します。ご発表を希望される会員は 2006 年 7 月 28 日（金）までにセミナー担当（福石）まで、ご氏名、ご所属、テーマ（仮題で結構です）、発表の概要をご連絡下さい。なお、自由研究発表は初日午後を予定しております。

自由研究発表申し込み先：

事務局セミナー担当 福石 賢一

〒807-8586 北九州市八幡西区自由ヶ丘 1-1 九州女子大学人間科学部

Tel./Fax. 093-693-3335

e-mail: fukuishi@kwuc.ac.jp

## 大学史国際セミナー報告書顛末

2001 年に広島大学で開催した大学史国際セミナーの英文報告書 *The Idea of a University in Historical Perspective: Germany, Britain, USA, and Japan* を 4 年余過ぎてようやく刊行することができた（広島大学高等教育研究開発センター高等教育研究叢書第 85 号、2005 年 11 月）。協力していただいた方々には厚くお礼申し上げたい。

多少打ち明け話になるが、広島大学で実行委員会を結成した仙波・安原・成定・羽田の間では、当初から海外の研究者を招聘し、国際セミナーとして開催したいと考えていた。ICU の立川会員の尽力もあり、USA からヘルプスト氏、UK からは安原の努力でゴールドマン氏を呼ぶことができた。せっかく論者がそろったのもったいないから、日本語と英語の報告書をという話になり、セミナーの際の総会でも幸いなことに了解が得られた。英文刊行物など市販は不可能であり、高等教育研究開発センターの研究叢書ということでスタートしたのが 2002 年の春だった。

しかし、英文刊行物を作ることがこれほど大変とは思ってもよらなかった。それからが難産で、セミナーの報告はすべてがフルペーパーというわけではなく、しかも重要な総括である寺崎コメントは、当日行われたのでペーパーもない。時間がたってから原稿を日本語で改めて書き起こしていただき、英訳したため、執筆者には忙しい中で大変な労力をお願いすることになった。たびたび請求する私たちも苦しかったが、請求される方も辛かったろう。寺崎会員に「私と羽田さんの間でこんなことになっちゃって」などため息をつかれ、いっそのことご破算にしようかとも思ったほどである。さらに集まった原稿は、形式が不ぞろいで、このまま印刷にまわせない。英文を安原・羽田でチェックし、さらにセンターの客員のモーガン教授にボランティアで見ていただき、執筆者に問い合わせといったやり取りを、安原・羽田とも法人化と評価に巻き込まれながら格闘して 4 年目、日の目を見たのである。難産ではあれ、出産できたのには、COE 技術員で編集を担当してくれた音野さんの献身的な役割なしには考えられない。また多量の日本語を迅速に翻訳してくれたリン・ハリソン氏、翻訳料を支出してくれた大学史研究会の寛大さにも、そして、叢書のひとつとして出版計画にいられた高等教育研究開発センターにも感謝したい。叢書の編集者が個人名になっているのは、研究会の成果物は研究会自身の費用で行うべきで、高等教育研究開発センターの出版物は、センターのコリィグの研究成果を刊行するためのものというルールによるものである。この点ご

理解いただきたい。編集の責任は仙波・安原・羽田の3人だが、内容は大学史研究会の活動成果であり、大学史研究会の国際的活動に少しは貢献できたかと（今となっては）喜んでいる。今年2月に広島大学を訪れたオックスフォード人名事典の編集者であるマーク・カートイス博士は講演原稿の中でさっそく報告書を引用してくださった。本報告書は、[http://rihe.hiroshima-u.ac.jp/pl\\_sousyo\\_2.php?bid=66283](http://rihe.hiroshima-u.ac.jp/pl_sousyo_2.php?bid=66283) から全文ダウンロードすることが可能であり、日本語版は、大学史研究会編著『歴史としての大学理念－「大学とは何か」を改めて問う』として、東信堂から近刊予定である。

（安原義仁・羽田貴史）

## 会員新刊ニュース

大学史研究会編著（2006）『歴史としての大学理念－「大学とは何か」を改めて問う』、東信堂

## 事務局からのお知らせ

### 「会員新刊ニュース」情報提供のお願い

本通信では、会員の研究活動の紹介を心がけておりますが、編集者の情報のみでは限界があります。新刊を発行されたご本人、あるいは会員が新刊を発行されたという情報を得られた方は、事務局（代表Eメールアドレス：jshshe@wwwsoc.nii.ac.jp）もしくは本紙編集担当の田中までご一報頂ければ幸いです。

## 原稿募集

『大学史研究通信』第47号は2006年8月31日に発行予定です。会員諸氏の現在の研究紹介、文献案内、会員主催の行事のお知らせなど、どのようなものでも結構です。皆様からの投稿を心よりお待ちしております。原稿提出・お問い合わせ等は事務局（代表Eメールアドレス：jshshe@wwwsoc.nii.ac.jp）もしくは本紙編集担当の田中までお願いいたします。

## 住所・所属変更届のお願い

住所や所属（昇任・学位取得も含む）に変更のある会員は事務局までご一報くださるようお願いいたします。教授・研究のために海外にご滞在予定の方も、海外での連絡先をお教えいただけましたら幸いです。ご連絡は事務局代表Eメールアドレス（jshshe@wwwsoc.nii.ac.jp）、または吉村研究室宛にお願いいたします。なお、変更届にあたっては、年会費払込票（郵便口座）の「通信欄」を利用することも可能です。

## 『大学史研究通信』バックナンバー希望者に頒布いたします

『大学史研究通信』第14号～現在発行号までを希望者に頒布いたします。事務局代表Eメールアドレス(jshshe@wwwsoc.nii.ac.jp)までご連絡ください。折り返し、請求方法をご連絡いたします。

### 編集後記

ここしばらく暑い日と寒い日が交互に訪れる、まさしく三寒四温の日々が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。私は仕事で研究室にこもりがちで、季節の移り変わりにも無頓着になってしまいそうです。

ところで、今回は会員名簿作成の件が主題となりましたが、所属を変更された会員数の多さに驚かされております。我が国でも研究者の移動が近年頃に活発化している証拠、といえるでしょう。言い換えれば、バートン・クラークの「日本の終身雇用といってもよいほどの長期雇用の慣行は、この国の大学人の移動を制限してきた」(バートン・R・クラーク著、有本章訳(1994)『高等教育システム—大学組織の比較社会学—』東信堂:184)という指摘は、もう既に過去のものとなったのでしょうか。

(田中 正弘 記)

『大学史研究通信』第46号の編集は事務局・田中正弘が担当いたしました。

連絡先 〒739-8512 東広島市鏡山1-2-2  
広島大学 高等教育研究開発センター  
TEL: 082-424-6241 FAX: 082-422-7104  
E-mail: [masatana@hiroshima-u.ac.jp](mailto:masatana@hiroshima-u.ac.jp)

『大学史研究通信』第47号は、2006年8月31日発行予定です。

### 大学史研究会事務局

〒635-8530 奈良県大和高田市東中127  
奈良文化女子短期大学 吉村日出東研究室内 大学史研究会  
TEL: 0745-52-1279 E-mail: [yosimura@narabunka.ac.jp](mailto:yosimura@narabunka.ac.jp)  
URL: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jshshe/>

事務局へのお問い合わせは、なるべく下記代表Eメールアドレスまでお願いいたします。

E-mail: [jshshe@wwwsoc.nii.ac.jp](mailto:jshshe@wwwsoc.nii.ac.jp)

### 大学史研究会事務局員 (五十音順)

岡田 大士 (東京工業大学)	杉谷 祐美子 (青山学院大学)
田中 正弘 (広島大学)	福石 賢一 (九州女子大学)
福留 東土 (一橋大学)	吉野 剛弘 (東京電機大学)
吉村 日出東 (明治大学)	